

## ～飛騨市民カレッジ開催レポート 第12号～

2022年12月4日(飛騨市民カレッジ Facebook ページより)

【「郷土」とは？「風土」とは？その本質を探る】

12月3日(日)風土形成事務所 / 東京大学空間情報科学研究センターの廣瀬俊介先生をお招きし、匠文化館で風土をテーマにした講座を開催しました！

この講座では、先生がこれまでの研究や飛騨で感じたこと・飛騨の人々から学んだことを、写真や先生自身が描かれた絵を用いてお話いただきました。『風土は(中略)自然条件そのものではない。(中略)自然条件にたいして人間が生業を通して働きかけた成果である』(宗教学者: 藺田稔)という定義から講座はスタートしました。



「この仕事をしている限り、その地域のできる限り全ての情報を知る必要があると思っています。」と先生自身おっしゃっており、その言葉の通り、今回の講座の先生の話の中には、「歴史」「地形」「生物」「天候」「宗教」など多岐にわたる分野の視点からお話いただいたことがとても印象的でした。参加者の皆さんは、60分間の講話のあと4～5人グループで感想と質問を話し合っていました。この対話の時間も、とても盛り上がりました。「同じ飛騨でも、古川と神岡ではまた違った風土があるし、この違いもいろんな要因があると感じた。次は神岡のこともぜひ聞きたい」「普段、天生県立自然公園で案内をしています、講話の中で先生に触れていただいた管理の工夫はかならず伝えるようになっています！この場で紹介していただけ嬉しかった」「とても感銘を受けました。次もぜひ実施していただきたいです」というような声をお聞きすることができました。会終了後も、参加者のみなさん同士で感想共有や対話が続き会場に残られる方が多くいたり、先生に直接お話しに行く方がいたり、会の余韻がしばらく残る時間がありました。



参加者の皆さん、廣瀬先生ありがとうございました。次回は、1月7日(土)地域社会の未来を共に創るスポーツの力と題し、公益社団法人プロサッカーリーグ(Jリーグ)社会連携部・部長 鈴木 順さんにご登壇いただきます。まだまだ参加申し込み受付中です！！今、大盛り上がり中のサッカー！スポーツと社会連携について学びます。